

日中の草の根運動で 中国文化財返還を実現しよう！

11月19日(土) 13時30分(13時開場)

会場:港区立産業振興センター/ホール大

東京都港区芝 5-36-4 札の辻スクエア11階 TEL:03-3578-2558

交通機関: JR 田町駅から4分、都営三田線三田駅から2分 *資料代1000円



講演(1) 日中戦争とウクライナ 戦争から学ぶもの

軍拡・改憲・さらなる戦争を許さないために

講師 **山田 朗** (明治大学教授)



講演(2) モノが語る歴史の 捏造と瑕疵文化財

講師 **東海林 次男**
(東京都歴史教育者協議会会長)

私たちは、日本が中国から収奪した文化財を「元の場所」に返還する運動に取り組んでいます。当面の返還対象は、①日清戦争直後の1895年に遼寧省海城の仏教寺院の三学寺から略奪した「石獅子」(現在、靖国神社に一对二体と栃木県の山縣有朋記念館に一体あり)と②日露戦争後に租借地となった遼寧省旅順から1908年頃までに略奪した「鴻臚井(こうろせい)碑」(現在、皇居の吹上御苑にあり)です。

私たちは、「不当に入手した異国の文化財を元に戻すことが近代史の再構成、脱植民地化になる」(五十嵐彰氏)、「文化財返還は物を返せば終わりという問題ではない。日本人が主体的な意志で返すことが過去の清算になる。人の命は戻らないが、文化財を返すことで歴史への道を探ろうという運動だ」(瀬藤厚氏)と考えて返還運動を進めています(「東京新聞」2022年4月12日、9月25日)。



靖国神社の獅子像



山縣有朋記念館の獅子像



皇居の鴻臚井碑

本集会「中国から略奪した文化財の返還を求める11・19集会」で、**山田朗**さんは「中国侵略戦争を反省し教訓を学ぶ中から日中友好と中国文化財返還の実現を目指して前進しなければならないこと」等について、**東海林次男**さんは「不正な手段で日本に持ち込まれた中国等の文化財と向き合う中から、元の場所に返還することが収奪された文化財の本来の価値を取り戻してモノの見えない傷を修復することであること」等について、問題提起を行います。**中国からのオンライン発言**もあります。多くの方々のご参加をお願い致します。

◎ブックレット『中国文化財の返還—私たちの責務』(500)円を販売中です。

◆会費・寄付(カンパ)の送金先◆ ◎皆様の入会とカンパをお待ちしています!
郵便振替口座 口座番号:00120-7-636180 口座名:中国文化財返還運動を進める会

主催: 中国文化財返還運動を進める会

2022.09.29

共同代表: 五十嵐彰(慶應大学非常勤講師) 瀬藤厚(山口大学名誉教授)

東海林次男(東京都歴史教育者協議会会表) 藤田高景(村山首相談話を引き継ぐ会)

〒105-0003 東京都港区西新橋1-21-5 一瀬法律事務所 Tel:3501-5558 Fax:3501-5565/Email: info@ichinoselaw.com

●連絡先[事務局]090-3438-0263 (新)090-8808-5000(藤田)090-5800-6384(大賀)03-3501-5558(元永、一瀬)